



公益社団法人 日本スポーツ協会公認
茨城県スポーツ指導者協議会

会 報

第 77 号

平成 30 年 8 月 1 日

発行人
茨城県スポーツ指導者協議会
会 長 照 沼 一 美
事務局 〒 306-0204
古河市下大野 1463-4
事務局長 鈴 木 義 夫
TEL・FAX 0280-92-4555
会員数 1,423 名 (H30. 8. 1 現在)



総 会 (平成 30 年 4 月 22 日 (日) 水戸市・内原中央公民館)

公益社団法人 日本スポーツ協会公認
スポーツ指導者のために

資質向上と
活動の推進を

連帯感を深め
組織的活動を

目 次

会長あいさつ	2
総務委員長あいさつ	2
県体協事業課長あいさつ	2
顧問あいさつ	3
茨城県スポーツ指導者協議会	
功労賞受賞者あいさつ	3
平成 29 年度収支決算報告書	4
平成 30 年度収支予算書	4
平成 30 年度事業計画書	5
支部だより	6～8

会長ごあいさつ



会長
照沼 一美

スポーツ指導者協議会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のうえ、ご活躍のこととお慶びを申し上げます。

平成三十年度事業実施に当たり、会員の皆様と伴に本協議会が発展されますよう、願いを込めてご挨拶申し上げます。

平成三十年四月二十二日の総会に於いて、報告事項の承認及び決議事項は、新年度の事業計画・収支予算等を審議いただき、賛成多数でご承認を賜りました。

このことにより、茨城県スポーツ指導者協議会は、県内六支部が一体となった運営に向けスタートいたしました。茨城県スポーツ指導者協議会会員の皆様におかれましては、県内各支部から発信されます研修会等の最新情報を取得され、積極的に研鑽されますようご期待いたしております。あわせてそれぞれの支部へのご協力を賜りますようお願いいたします。

公認の有資格者であるスポーツ等の指導者は、次元の高いより良い指導者として指導方法を研鑽さ

れ、理想の指導者への道を歩まれますようご期待申し上げます。

平成三十年度は、茨城県内各市町村におかれましては、平成三十一年に開催実施されます、第四十七回国民体育大会茨城大会のりハサル大会が実施され、県内各市町村行政組織が一体となって取り組まれております。我々有資格者はそれらの取り組みに対し、どのような些細な事柄でも真摯に支援出来る体制にいたしたいものです。会員皆様の茨城国体へのご支援・ご活躍を期待しております。末尾であります。公益財団法人日本スポーツ協会の発信する情報に注目され、指導体制に対し万全の対応をされますようご期待申し上げます。

総務委員長ごあいさつ



中央支部
小堀 英樹

近年になく暑い夏、異常気象と言えらる猛暑の毎日です。

今年、県スポーツ指導者協議会の総務委員会の役を頂きましたが、組織の中で余りお役に立てて無い現実反省しております。今後は、規約の改善や改革を、総務委員会の中で少しでも提案出来る

ようにしたいと思えます。また三十年度、第三回全県研修会が、八月の暑い中開催されますが、協議会の役員の皆様のご尽力には、敬意を表すとともに無事終了出来ますよう願っております。

私は空手道専門部の役員として、スポーツ少年団、高校空手の指導員として生き甲斐を感じ日々取り組んでおりますが、二〇二〇年に東京オリンピックの競技大会に実施競技に正式に採用され、空手界の念願がやっと叶い二年後の開催を大変楽しみにしております。礼節や伝統に培われた世界に誇る武道を積極的に交流し、友好の場が広がる事を、空手を愛する一人として大いに期待してまいります。

日本では今、テレビなどでレスリング協会、ボクシング協会、アマフト協会など、パワハラ・セクハラの不祥事が、大きな社会問題としてマスコミに報じられています。スポーツを愛する者として情けなく、憤りを強く感じます。スポーツを通して、青少年の育成とスポーツ界の発展のために、微力ながら良い方向に向かえるよう頑張つて行きたいと思えます。



茨城県体育協会あいさつ



茨城県体育協会
事業課長
橋本 晃輝

茨城県スポーツ指導者協議会の皆様におかれましては、ご健勝のうえご活躍のこととお慶び申し上げます。この度、本協議会の役員（顧問 県体協）となりましたのでご挨拶申し上げます。

さて、時の経つのは早いもので二巡目の茨城国体が来年開催されます。県内でも少しずつではありますが機運の醸成が図られ、スポーツへの関心が日々高まってくるのを感じております。

さらに、再来年には、東京オリンピック・パラリンピック競技大会と北関東インターハイも開催され、我々スポーツに関わる者としてましては、これらのビックイベントの成功にも期待をせずにはいられません。

一方で、先頃スポーツ庁から日本スポーツ協会を介して、運動部活動の在り方に関する総合的なガイドラインの策定について通知がありました。運動部活動は、生涯にわたるスポーツ参画の基盤づくりと競技力向上の両面で欠かすことのできないものであります。今

後、部活動の在り方については、地域や学校の実態に応じて、多様な形で最適に実施されるように、適切な運営等に係る取り組みが検討されます。これには日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格を有している皆さんの力が必要になると思われます。

茨城県スポーツ指導者協議会には、これからも常に進取の気質と柔軟な考え方をもち、スポーツ指導者として資質の向上を図り続けることを忘れずに、茨城県民のスポーツ振興に寄与するために邁進していただきたいと考えております。

どうぞよろしくお願いいたします。



顧問
大島 宗夫

昨年の三月に（公財）茨城県体育協会を再任用任期満了により退職し、以降地元ボランティアとして仲間の方々と交流等を楽しんでいた折、「協議会の顧問」とのお話がありました。

県体育協会在職中は、スポーツ少年団の育成、公認スポーツ指導者の育成事業に担当としてかわらせていただき、地域スポーツ振興事業を指導者協議会とともに

の目標であった事もあり、協議会の皆様には、ひとかたならぬお世話になった経緯がございます。

私は事業担当し始めた頃に、特別な思いがあります。要請講習会修了者にC級・B級指導者資格の種類があり、全て集合講習会の為講師先生の日程や会場確保の調整がありました。また資格更新の為の義務研修実施にあたり、参加人数が多く茨城県武道館を利用し、変則設定の会場で開催する事が出来ました。

当時の協議会の皆様には、会場設営から事業運営へのご協力に感謝申し上げます。

現在の協議会の運営は、会長を中心に広く全国、関東ブロック組織と連携が円滑に行われ、スポーツ指導者活動に関わる新しい情報が入り、県内の県北支部の会報発行、水戸支部・中央支部の独自研修会の実施、鹿行支部の地域交流、県南支部の指導者への情報提供、県西支部の地域交流事業協力と、各支部が地域特性を活かし独自に企画・運営が出来る組織に発展しております。

県体育協会から受ける補助金をもとに、六支部へ支給される財源による支部活動に対し、ご尽力くださる協議会会員の方々が、各市町村、各競技団体においてたくさん存在されることに感謝の気持ち

でいっぱいです。

公認スポーツ指導者は、安全、安心なスポーツ現場を実現するためになくてはならない存在ですが、社会においてその活動を認識いただけますよう、皆様と共に少しでも貢献できればと思います。引き続きご指導とご厚誼のほどよろしくお願い申し上げます。

茨城県スポーツ指導者協議会
スポーツ指導者功労賞

受賞者あいさつ



県北支部
高松 淑子

この度、平成三十年度茨城県スポーツ指導者協議会総会の席上におきまして、スポーツ指導者功労賞を賜りまして誠に有難うございました。

ご推薦を頂きました、茨城県スポーツ指導者協議会、並びに同県北支部の皆様方のご尽力に心より感謝申し上げます。

省みますと、私がスポーツ少年団に関わるようになりましてのは、長女が小四の時に複合スポーツ少年団に入団したことからでした。団長に資格取得を勧められま

したが、不安がる私に体協の方から、「これからは皆さんに資格を取って、お手伝いをして頂きたいのです」の言葉に背中を押して頂き、認定育成員の資格を取得し、地域の体育振興会のお手伝い等をし、ジュニアスポーツ指導員、アシスタントマネージャーの資格を取得して現在に至っております。団員達から日々元気をもらいながら、これまでに多くの方々との出会いや諸先輩方々からの御指導やアドバイスを頂きながら、団員達をいかに指導していくかということに試行錯誤しながら、団員達が身体を動かす事の楽しさや身体作り、そしていろいろな体験を通して、やって良かったと思えるように・・・また昨年より県北支部の役員をお受けしました。支部の皆様にはいつもお世話になっております。まだまだ未熟でございますので、これから気持ちを新たにしていきたいと思います。生涯スポーツを目指して地域活動にも貢献していきたいと思っております。今後とも皆様方のご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



平成30年度 本協議会事業計画書

1、方針

- 1) 地域住民のスポーツ活動のニーズに対応して、生涯にわたるスポーツ活動への協力と支援を通じてスポーツ指導者の社会的地位向上に努める。
- 2) 資格保有者相互の親睦と連携に努めて、指導者として資質や指導力の向上を図り、スポーツ活動の推進に努める。
- 3) 公認スポーツ指導者の本協議会へ会員入会の促進を積極的に努める。
- 4) 地域総合型スポーツ活動への参画に努める。

2、目標

- 1) 本協議会の組織充実を図る。
 - ①本協議会の組織体制を図り、支部組織の充実に努める。
 - ②市町村及び競技団体との連携・協調に努める。
 - ③有資格者の会員入会（新規入会及び更新入会）の促進を積極的に推進する。
- 2) 義務研修会（全県研修・地区研修・ライブオンセミナー）を開催して、資質と指導力の向上を図る。
- 3) 普及広報活動を充実させて、交流と情報交換を図る。
- 4) 公益財団法人茨城県体育協会及び市町村体育協会事業への協力体制を充実させる。
- 5) 競技団体との連携強化を図る。
- 6) 関東ブロックスポーツ指導者協議会の情報交換と連携協力する。

3、事業

- 1) 平成30年度公益財団法人茨城県体育協会事業協力
 - ①平成30年度茨城県スポーツ指導者研修会・全県研修
 - (1)期 日 平成30年8月12日(日)
10時開会～14時45分閉会
 - (2)会 場 水戸市・ケーズデンキスタジアム
水戸・多目的室
 - (3)参加料 会 員 ￥1,000円
非会員 ￥2,000円
 - (4)参加定員 230名予定
 - (5)主 管 水戸支部及び研修委員会
 - (6)運営委員 26名(水戸支部役員・研修委員会
委員・本部役員・総務委員・広報委員)
 - ②平成30年度茨城県スポーツ指導者研修会・県南地区研修
 - (1)期 日 平成30年11月11日(日)
10時開会～14時45分閉会
 - (2)会 場 阿見町・本郷ふれあいセンター予定
 - (3)参加料 会 員 ￥1,000円
非会員 ￥2,000円
 - (4)参加定員 180名予定
 - (5)主 管 県南支部
 - (6)運営委員 20名(県南支部役員・本部役員)
 - ③平成30年度茨城県スポーツ指導者研修会・県北地区研修
 - (1)期 日 平成31年2月3日(日)
10時開会～14時45分閉会
 - (2)会 場 日立市・十王総合健康福祉センター
『ゆうゆう十王』
 - (3)参加料 会 員 ￥1,000円
非会員 ￥2,000円
 - (4)参加定員 100名予定
 - (5)主 管 県北支部
 - (6)運営委員 20名(県北支部役員・本部役員)
 - ④平成30年度公益財団法人日本スポーツ協会ライブオンセミナー協力
 - (1)期 日 平成30年6月29日(金)・
7月5日(木)・7月11日(水)・19時～21時
 - (2)会 場 水戸市内予定
 - (3)参加料 ￥5,400円(日本スポーツ協会の
指定口座に振込み)
 - (4)参加申込先 公益財団法人日本スポーツ協会
 - (5)参加定員 80名予定
 - (6)主 催 公益財団法人日本スポーツ協会
 - (7)主 管 公益財団法人茨城県体育協会
 - (8)運営委員 若干名(茨城県体育協会職員)
- 2) 平成30年度本協議会会報発行
 - ①会報第77号発行
 - (1)ページ数 8～10ページ予定
 - (2)依頼日 5月中旬予定
 - (3)依頼先 会長・専門委員長・茨城県体育協会・
本協議会受賞者・支部だより・みんなの広場
 - (4)発行日 平成30年8月15日予定
 - (5)発行先 6支部会員・県外会員及び新規入会
会員
 - (6)発行数 1,600部予定
 - ②会報第78号発行
 - (1)ページ数 8～10ページ予定
 - (2)依頼日 12月下旬予定
 - (3)依頼先 会長・事務局長・顧問・茨城県体育協会・
日本スポーツ協会受賞者・支部だより
みんなの広場
 - (4)発行日 平成31年3月15日予定
 - (5)発行先 6支部会員・県外及び新規入会会員

- (6)発行数 1,600部予定
- 3) 平成30年度全国スポーツ指導者連絡会議
 - ①平成30年度関東ブロックスポーツ指導者協議会総
会
 - (1)期 日 平成30年月 日()予定
 - (2)会 場 東京都・岸記念体育館予定
 - (3)出席者 3名(関東ブロック役員・照沼会長・
鈴木会計・大島理事)予定
 - ②平成30年度関東ブロックスポーツ指導者協議会研
修懇親会(宿泊)
 - (1)期 日 平成30年6月17日(日)～
18日(月)内定
 - (2)会 場 群馬県・伊香保温泉
 - (3)参加者 若干名(照沼会長他)予定
 - ③平成30年度第1回関東ブロックスポーツ指導者協
議会役員会
 - (1)期 日 平成30年月 日()・14時～
17時予定
 - (2)会 場 東京都・岸記念体育館予定
 - (3)出席者 3名(関東ブロック役員・照沼会長・
鈴木会計・大島理事)予定
 - ④平成30年度第2回関東ブロックスポーツ指導者協
議会役員会
 - (1)期 日 平成30年月 日()・14時～
17時予定
 - (2)会 場 東京都・岸記念体育館予定
 - (3)出席者 3名(関東ブロック役員・照沼会長・
鈴木会計・大島理事)予定
 - ⑤平成30年度第1回全国スポーツ指導者連絡会議
(幹事会・全体会・分科会)
 - (1)期 日 平成30年 月 日()予定
 - (2)会 場 東京都・岸記念体育館予定
 - (3)出席者 1名(茨城代表・照沼会長)予定
 - ⑥平成30年度第2回全国スポーツ指導者連絡会議
(幹事会・全体会・分科会)
 - (1)期 日 平成30年12月 日(金)予定
 - (2)会 場 東京都・岸記念体育館予定
 - (3)出席者 1名(茨城代表・照沼会長)予定
 - ⑦平成30年度公認スポーツ指導者全国研修会
 - (1)期 日 平成30年12月 日(土)予定
 - (2)会 場 東京都・TKPガーデンシティ品川
予定
 - (3)出席者 若干名(参加希望者)予定
 - ⑧平成30年度公益財団法人日本スポーツ協会公認ス
ポーツ指導者表彰受賞者
 - (1)期 日 平成30年12月 日(土)予定
 - (2)会 場 東京都・TKPガーデンシティ品川
予定
 - (3)受賞者 若干名(本協議会推薦者)予定
- 4) 平成30年度公益財団法人日本スポーツ協会公認ス
ポーツ指導者表彰推薦者
 - ①県北支部・推薦者は事務局預かり
 - ②水戸支部・推薦者無し ③中央支部・小堀英樹様
 - ④鹿行支部・推薦者無し ⑤県南支部・推薦者無し
 - ⑥県西支部・角谷俊二様
 - ⑦常任理事会・吉田広光様・青柳薫光様
- 5) 平成30年度茨城県スポーツ指導者協議会表彰推薦
者(功労賞・感謝状)
 - ①県北支部・高松淑子様(功労賞)
 - ②水戸支部・推薦者無し ③中央支部・推薦者無し
 - ④鹿行支部・推薦者無し ⑤県南支部・推薦者無し
 - ⑥県西支部・推薦者無し
- 6) 平成30年度本協議会各種会議等開催計画
 - ①総 会 平成30年4月22日(日)
会 場 水戸市・内原中央公民館
二階視聴覚室
 - ②常任理事会 3回計画/年(10月下旬・1月下旬・
3月中旬)予定
会 場 水戸市・内原中央公民館
二階円卓室
 - ③理 事 会 2回計画/年(4月中旬・2月下旬)
予 定
会 場 水戸市・内原中央公民館
二階円卓室
 - ④事務局会議 2回計画/年(8月中旬・3月中旬)
予 定
会 場 水戸市・内原中央公民館
二階会議室
 - ⑤専門委員会
 - (1)総務委員会 2回計画/年(10月下旬・1月下旬)
予 定
会 場 水戸市・内原中央公民館
二階会議室
 - (2)研修委員会 3回計画/年(5月下旬・7月中旬・
8月中旬)予定
会 場 水戸市・ケーズデンキスタ
ジアム水戸・多目的室
 - (3)広報委員会 2回計画/年(6月・2月)予定
会 場 水戸市・内原中央公民館
二階会議室

平成 29 年度 収支決算報告書 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

収入の部

(単位：円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1. 会費	1,400,000	1,180,000	△ 220,000	4,000 円× 295 名
2. 助成金	200,000	200,000	0	公益財団法人茨城県体育協会 (29 年度)
3. 繰越金	95,642	95,642	0	前年度繰越金 (28 年度)
4. 雑収入	34,358	21,142	△ 13,216	利息・返金
合計	1,730,000	1,496,784	△ 233,216	

支出の部

(単位：円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1. 会議費	170,000	135,416	△ 34,584	
総務委員会	28,000	18,628	△ 9,372	切手・事務用品・飲料・会場使用
常任理事会	15,000	14,524	△ 476	切手・事務用品・飲料・会場使用
理事委員会	22,000	20,128	△ 1,872	切手・事務用品・飲料・会場使用
総務委員会	20,000	0	△ 20,000	切手・事務用品・飲料・会場使用・交通・手当
研修委員会	45,000	44,240	△ 760	切手・事務用品・飲料・会場使用・交通・手当
広報委員会	40,000	37,896	△ 2,104	切手・事務用品・飲料・会場使用・交通・手当
2. 事務費	555,000	343,006	△ 211,994	
旅費	100,000	27,500	△ 72,500	研修会・各種会議
役員費	50,000	50,000	0	会長・事務局長
消耗品費	100,000	65,389	△ 34,611	事務用品
食料費	15,000	2,169	△ 12,831	監査・事務局
印刷コピー費	50,000	55,442	5,442	封筒印刷・コピー
通信費	200,000	119,574	△ 80,426	切手・ゆうパック
備品費	40,000	22,932	△ 17,068	メモリー・ゴム印他
3. 事業費	570,000	495,079	△ 74,921	
会報印刷費	230,000	158,400	△ 71,600	会報第 75 号・第 76 号印刷
会報送費	230,000	234,258	4,258	会報第 75 号・第 76 号送料
研修費	50,000	28,941	△ 21,059	全県・地区研修会事務用品
派遣費	60,000	73,480	13,480	関東ブロック会議・地区研修会
4. 支部活動費	380,000	380,000	0	
県北活動費	70,000	70,000	0	支部研修会・支部便り
水戸活動費	30,000	30,000	0	
中央活動費	90,000	90,000	0	全県研修会・支部講習会
鹿行活動費	80,000	80,000	0	地区研修会・支部研修会・支部便り
県南活動費	40,000	40,000	0	支部便り
県西活動費	70,000	70,000	0	地区研修会・支部講習会
5. 負担金	3,000	10,000	7,000	関東ブロックスポーツ指導者協議会
6. 雑費	40,000	44,234	4,234	手数料・賞状・額・包装・関ブロ結成参加
7. 予備費	12,000	0	△ 12,000	
合計	1,730,000	1,407,735	△ 322,265	

収入合計 1,496,784 円
 支出合計 1,407,735 円
 差引残金 89,049 円

※上記のとおりご報告いたします。
 なお、差引き残金は平成 30 年度本協議会収支予算書に繰り越いたします。

平成 30 年度 収支予算書 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

収入の部

(単位：円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備考
1. 会費	1,240,000	1,400,000	△ 160,000	4,000 円× 310 名
2. 助成金	200,000	200,000	0	公益財団法人茨城県体育協会 (30 年度)
3. 繰越金	89,049	95,642	△ 6,593	前年度繰越金 (29 年度)
4. 雑収入	20,951	34,358	△ 13,407	利息・返金
合計	1,550,000	1,730,000	△ 180,000	

支出の部

(単位：円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
1. 会議費	167,000	170,000	△ 3,000	
総務委員会	25,000	28,000	△ 3,000	切手・事務用品・飲料・会場使用
常任理事会	20,000	15,000	5,000	切手・事務用品・飲料・会場使用
理事委員会	22,000	22,000	0	切手・事務用品・飲料・会場使用
総務委員会	15,000	20,000	△ 5,000	切手・事務用品・飲料・会場使用・交通・手当
研修委員会	45,000	45,000	0	切手・事務用品・飲料・会場使用・交通・手当
広報委員会	40,000	40,000	0	切手・事務用品・飲料・会場使用・交通・手当
2. 事務費	435,000	555,000	△ 120,000	
旅費	80,000	100,000	△ 20,000	研修会・会議(総会・常任理事会・理事会)
役員費	50,000	50,000	0	会長・事務局長
消耗品費	85,000	100,000	△ 15,000	事務用品
食料費	15,000	15,000	0	監査・事務局
印刷コピー費	50,000	50,000	0	封筒印刷・コピー
通信費	125,000	200,000	△ 75,000	切手・ゆうパック
備品費	30,000	40,000	△ 10,000	メモリー
3. 事業費	490,000	570,000	△ 80,000	
会報印刷費	170,000	230,000	△ 60,000	会報第 77 号・第 78 号印刷
会報送費	240,000	230,000	10,000	会報第 77 号・第 78 号送料
研修費	30,000	50,000	△ 20,000	全県研修会・地区研修会諸経費
派遣費	50,000	60,000	△ 10,000	関東ブロック会議
4. 支部活動費	395,000	380,000	15,000	
県北活動費	85,000	70,000	15,000	地区研修会・支部研修会・支部便り
水戸活動費	70,000	30,000	40,000	全県研修会・支部講習会
中央活動費	70,000	90,000	△ 20,000	義務研修会・支部講習会
鹿行活動費	55,000	80,000	△ 25,000	支部研修会・支部便り
県南活動費	65,000	40,000	25,000	地区研修会・支部便り
県西活動費	50,000	70,000	△ 20,000	支部研修会
5. 負担金	10,000	3,000	7,000	関東ブロックスポーツ指導者協議会
6. 雑費	40,000	40,000	0	手数料他
7. 予備費	13,000	12,000	1,000	
合計	1,550,000	1,730,000	△ 180,000	

収入合計 1,550,000 円
 支出合計 1,550,000 円
 差引残金 0 円

※上記のとおりご提案いたします。

支部だより

中央支部

事務局長
野々村 律子

平成三十年度は、四月一日(日)の支部総会より始まりました。

ひたちなか市松戸体育館研修室に於いて、平成二十九年、事業決算・監査。三十年度事業計画予算・報告、審議をとおこりなく終了する事が出来ました。

平成三十年度の支部研修会を、日本スポーツ協会義務研修の公認資格更新事業として、五月十三日(日)笠松運動公園陸上競技場会議室に於いて開催致しました。

講演1のスポーツの科学では、心肺機能を高めるトレーニング方法という演題で、楽しい時間を過ごせました。人体の骨の模型を使つてのユニークな講義で、毎度の事ながら藤枝講師の人間味あふれる、素晴らしい時間でした。

大塚製薬株式会社の水戸支店、竹下さんに、スライドと冊子で最新の情報を提供して頂きました。

講演2のスポーツの指導方法におきましては、日本スポーツ協会の懸案である暴力・反論理的行為根絶の意識の高揚を、心から願うものであります。

昨今メディアでも取り上げられている、学校の部活動に対しての

先生方への対応、郊外指導者への対応の変化を日本スポーツ協会の資料を基にして、照沼講師に講演していただきました。スポーツ指導者としての現況と時代の変化について新しい時代にふさわしいコーチングが求められるという事になるでしょうか。

研究協議の時間は、中央支部事務局発進として、東日本大震災から早七年、風化気味の意識の中に今だに時折起こる大きめの地震に、あの時の瞬間を想い出す昨今です。比較的に被害が少なかった自分とは逆に、今でもあの時を想い、大変な想いでいらつしやる方々の事を思うと心が痛みます。防災チェックの再考という資料をひもときながら、家族全員の防災意識の共有と共に、指導者として有事の時のあり方への意識向上に気を引き締めた物と思えます。

平成三十年度の支部講習会は、恒例の救急救命講習会を、ひたちなか市田彦消防署会議室で開催出来ました。平素から様子をしっかりと見る事で、大きな病気への予防に気を配る事とか、良いお話が伺えました。あらためてAEDの使用の方と意義を詳しく理解して、その時に声を出す勇気の大事さを教えて頂きました。これは、支部事業として継続する意義を新たに致しました。

県南支部

支部長
櫻井 孝之

平成二十九年度は、県南便りを二回発行させて頂きました。県南支部は有資格者数、会員数も一番多い支部にも関わらず、県南支部活動が低迷致しており、支部長として責任を感じております。今年度は県南地区研修会が、十一月に阿見町「本郷ふれあいセンター」で開催されます。一昨年は受講者数が、約百名弱でした。会場の定員数は百八十名なので、ふるって参加して下さい。今年度から会員千円非会員二千円の参加料となりました。運営に当たりましては、会員の皆様にご協力お願い致しておりますが、今年度も宜しくお願い申し上げます。

昨今、スポーツ指導者の不祥事が相も変わらずマスコミを賑わしております。根気よくスポーツ界からの暴力根絶と、プレイヤーズファーストの指導に取り組んで行きたいと思えます。昨年は、スポーツ少年団指導者養成講習会の講師を四回程「スポーツ指導者の役割」について行いました。失敗を恐れずいかにチャレンジしたかを評価し、「出来た」という成功体験を味合わせる。子供たちに失敗から学ぶ体験を通し、「考える力」を養っていく。指導者も学ぶことを止めたら、指導者を止める覚悟が必要であろう。

指導者義務研修会に、多数の参加を御願致します。

県北支部

支部長
梅村 恒雄

去る五月二十日(日)日立市女性センターに於いて、平成三十年県北支部総会を開催しました。総会前に恒例となっている実技研修として、二年前に紹介した二ユースポーツの「スクエアステップ」を実施しました。

「ボケ防止」に良いと指導者から紹介され、参加者は半信半疑でステップを踏んでいましたが、納得した表情で心地良い汗をかきながら和気あいあいとハイタッチをしていました。

総会は、平成二十九年の活動報告と平成三十年度の事業計画(案)が提案され、満場一致で承認されました。

平成三十年度の事業は、
・役員会(月一回)の開催
・委員会(随時)の開催
・会報「あみご」(年二回)の発行

・近隣市町村への運営協力として日立さくらロードレースの給水
・女性センターまつりへの協力
・県北地区研修会の開催などを中心とした活動を予定しています。

今年度は、隔年開催される県北地区研修会の会場を「十王ゆうゆうホール」に移し、多くの指導者の皆様に参加して頂ける研修会と

なるよう役員会で計画していきま
す。

水戸支部

支部長

吉田 広光

水戸支部は、平成二十九年中に
普通救命講習会の開催の予定であ
りました。残念ながら昨年は実
施できませんでした。会員の皆様
方には、開催できませんでした事
大変申し訳なく誠に恐縮に感じて
おります。

平成三十年度の総会を、五月十
三日、上中妻市民センターにおい
て開催し、「救急救命講習会」を
実施しました。その内容として
は、二十五名の皆様に参加いただ
き、初めに八時三十分より事業報
告、決算報告、三十年度の事業活
動などを審議し、水戸支部の総会
が終了しました。九時三十分より
水戸地区救急普及協会より、四名
の講師の方に講習を受け、和気あ
いあいとした中で終了いたしました。
当日、十四名の参加者の方は
再講習でありましたが、六名の方
が初めての講習でした。救急普及
協会の講師の皆様には、終了まで
貴重な時間を贈する事なく行動で
きる様にと適正な話があり、知識
を自分の物に身につけ、日々の活
動をする上で、大事な講習会では
なかったかと思いました。
数字の「三」は私たちの生活に
おいて「キーワード」となる数字
だそうです。その一つに人生の三

徳という言葉「笑い」・「感動」・
「愛」だそうです。

三人寄れば文殊の知恵、失敗す
れば三度の正直とか、水戸は三名
は「光圀」・「斉昭」・「慶喜」だそ
うです。

三は私達が生活のためのキーワ
ードの数字で、仲間と再認識しな
がら頑張りたいと思うこの頃で
す。



鹿行支部

副支部長

君和田 毅

例年支部活動は、支部役員会を
開き、研修内容や支部の課題等の
解決に向けた協議を行っていま
す。年一回、支部だよりを発行し
て、支部研修会(二年に一度は、
義務研修会)を実施しています。

鹿行支部の会員数は、平成三十
年三月末現在で、有資格者は百九
十七名、会員数百名です。パーセ
ンテージで言えば約五十・七六%
ですが、全県的にみても同じよう

な数字です。

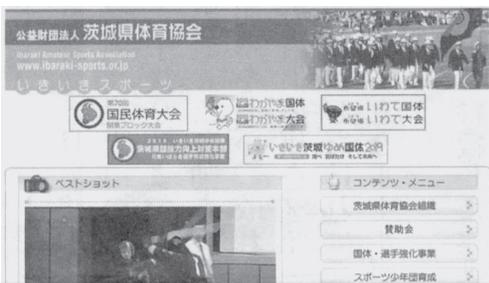
この数字からみる本協議会の課
題は、同じ有資格者でも会員と非
会員に分かれていて、非会員の数
が半々ということ。市町村に
おける有資格者の活用は、その点
は考慮されておらず、協力的かど
うかで決まります。また、市町村
単位では、協議会の組織がないた
め、どのような資格を持った人が
いるのか分からないのが現状では
ないでしょうか？鹿行支部の場合
は、役員に各市町村のスポーツ行
政担当者が一名ずつ入っており、
情報交換や合同研修会等を実施し
ていますが、まだまだ組織として
活用が図れていません。

鹿行支部の課題は、新しく役員
になる人がいないことです。支部
の研修会を実施しても参加者は少
なく、支部の意義を伝えることが
出来ません。原因の一つとして
は、会員でない人に広報紙を配布
していないので、本協議会の活動
を知らせることが出来ないことや
役員になると負担感があり、新た
な役員になる人がいません。この
現状が続けば、支部の解体もそう
遠い話ではないと思います。

解決策としては、これまで何回
か提案をしていますが、全員が協
議会に入会するのが、ベストだと思
います。そのためには、有資格
者全員を会員として登録してもら
うシステムなどへの変更はいかが
でしょうか？すると、役員の出

にも幅が広がると思います。
最後に会員の皆様には、要望や
問題提起をお願いし、益々、本協
議会がより良くなりますようご祈
念申し上げます。

ホームページ開設



<http://www.ibaraki-sports.or.jp/>

お知らせ

住所変更及び改姓した場合必
ず変更届を連絡して下さい。

【連絡先】〒306-0204
茨城県スポーツ指導者協議会
事務局 古河市下大野1463-4
事務局長 鈴木 義夫

TEL 0280-92-4555
FAX 0280-92-4555

県西支部

事務局長
近藤 康雄

県西支部、平成三十年年度支部総会を久しぶりに古河市中央公民館で、平成三十年四月二十八日(土)午前九時より開催いたしました。他支部でも総会出席会員は少ないと思いますが、県西支部も同様で今年度は総会後、支部研修会を企画しました。「理想的な指導者」と題して出欠を確認したところ例年以上の出席者の参加を頂きました。

支部総会については県西支部会員百七十五名に対し、出席十八名(当日欠席二名)、欠席委任百三十一名、未連絡二十六名でした。平成二十九年度の支部活動報告、決算報告、平成三十年年度の支部活動計画、支部予算を審議、承認されました。その他の中で、日本体育協会は四月一日(日本スポーツ協会に名称変更になりました)。公認スポーツ指導者と各地区の体育協会との関係(連携)についての質問があり、特に指導者名簿についての事が主でした。(名簿の提供について)ある地区で指導者の名簿がほしいと話があり、名簿の流れは①日本スポーツ協会→②県体協→③スポーツ指導者協議会と流れて来るが個人情報上の為、名簿は出せないとの返事があったとの事でした。(一部出せるなどの返事があったが、最終的にはNGとの事)スポーツ振興、競技力向上等、平行して進めていく為には、指導者の協力が必要だと思ふ。その為には名簿が必要であり、当然の事だと思ふ。総会の中では答えはだせなかったが再度、県体協の事業課長に確認する事になった。

総会後の研修会には、古河市のスポーツ推薦委員(六名)も参加。講師の先生は公益社団法人、日本綱引き連盟、副会長、東 敏昭先生に講義を頂いた。①指導者は常に学び続けなくてはならない。自己啓発、自己投資。②コミュニケーション信頼関係。③プレイヤーズファースト。④スポーツは楽しくなければいけない。⑤トリプルA作戦(あいさつ、あくしゅ、あ)りがとう、⑥思いやり...等々、一時間三十分の講演でしたが時間が立つのを忘れるくらいの内容でした。東先生との出会いは綱引き指導員資格取得講習会で講義を受けた縁で知り合いました。来年、茨城国体で古河市で公開競技として「綱引き」協議が行われます。各支部の役員の方、又、会員の方々にも茨城国体関係競技に携わる方が多数いらっしゃると思ひます。

お互い頑張りましょう。



会員入会協力への
おねがい

会員の皆様、有資格者のお仲間、会員入会をお勧めいたします。ただ、ご協力をお願いいたします。

編集後記

第七十七号会報発行に当たり皆様に原稿を賜り心から感謝申し上げます。ご愛読いただけるとの報告となるよう努力してまいりますので、皆様の忌憚のないご意見をお寄せ頂きたいと思ひます。

次回の会報七十八号発行は平成三十一年三月(予定)

広報委員会

- 広報委員長 君和田 治也
- 広報副委員長 高野 照代 (鹿行支部)
- 広報委員 佐藤 マツ (県北支部)
- 岡野 秀一 (水戸支部)
- 柏葉 光子 (中央支部)
- 櫻井 孝之 (県南支部)
- 角谷 俊二 (県西支部)
- 鈴木 義夫 (事務局長)